

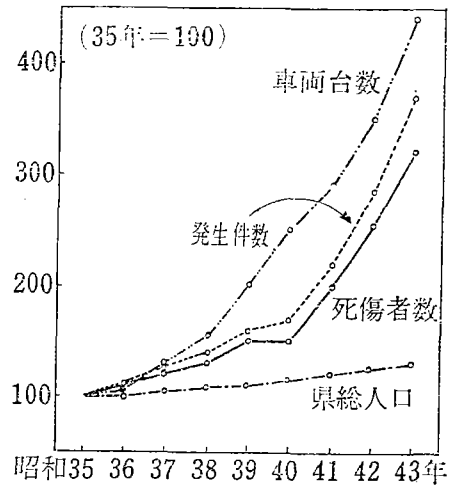
109. 交 通 事 故

県勢の飛躍的な発展に伴い、交通需要の増大→車両、交通量の増大→交通事故、交通渋滞の増加、という図式がいつ層強められるような勢にあります。

昭和43年の交通事故死傷者数は、23千人で前年より28.9%増加している。このうち、幼児、小、中、高校生の死傷者は4,114人(14.3%増)となっている。

事故件数を原因別にみると、運転者の安全運転義務違反がもっとも多く38.9%を占め、ついで車間距離不保持、歩行者保護違反、追い越し違反となっている。

交通事故および死傷者の推移



年	交通事故件数と被害状況						
	件数	(うち)車等による原因	死傷者数				物の損害額(1000円)
総数			(うち)男	死亡者数	傷者数		
昭和38年	7 146	9 391	8 877	6 723	357	8 520	406 276
39	8 192	11 081	10 379	7 882	369	10 010	479 909
40	7 879	11 125	10 819	8 269	393	10 426	538 614
41	10 843	13 458	13 918	10 577	426	13 492	711 103
42	13 927	16 709	18 160	13 953	409	17 751	798 786
43	17 221	16 487	23 415	18 016	511	22 904	-

原因別事故件数 (昭和43年)

原因	件数	構成率(%)	原因	件数	構成率(%)
総数	17 221	100.0	横断(転回)不適当	228	1.3
車両	16 487	95.7	信号無視	226	1.3
安全運転義務違反	6 696	38.9	労働無運	138	0.8
車間距離不保持	1 138	6.6	整備不良車両	99	0.6
歩行者保護違反	1 081	6.3	切通行違	78	0.4
追い越し違反	1 012	5.9	図の履	42	0.2
酒酔い(酒気帯び)運転	980	5.7	歩行者	734	4.3
交差点の徐行違反	890	5.2	飛行者	608	3.6
右折違反	780	4.5	信号無視	36	0.2
ハンドル等操作不確実	675	3.9	踏切不注意	20	0.1
右側通行	422	2.5	車の直前直後横断	34	0.2
最高速度違反	320	1.9	めいてはいはいか	16	0.1
一時停止違反	316	1.8	路上の遊	16	0.1
法定指定場所徐行違反	267	1.5	その他	4	0.0
左折違反	256	1.5			
後退不適当	243	1.4			
優先通行違反	228	1.3			